

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-83	小学校	音楽科	音楽	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 503	小学音楽 音楽のおくりもの5		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



音や音楽に、心を響かせる

「小学音楽 音楽のおくりもの5」は、教育基本法及び学校教育法の内容や、さまざまな教育課題に対応すべく、「豊かな情操を培い、学びに向かう力を育む」「丁寧なステップアップと編修上の工夫で、先生方のご授業を支える」「一人一人の子どもたちに寄り添う」の三つの観点を基本方針とし編修にあたりました。

特色 1

学びに向かう力を育む

音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な学びを引き出す工夫をしています。
学習の見通しや活動を、わかりやすく明示しました。

特色 2

先生方のご授業を支える

資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列にしました。

特色 3

一人一人の子どもたちに寄り添う

歌詞の内容を、美しいビジュアルで表現しています。

学びに向かう力を育む

主体的・協働的な学びを引き出す工夫をしています。

本教科書は、題材構成された主要部分と、選択可能なオプション部分等で構成されています。主要部分では「学習のめあて」や「まなびナビ」などを示すことにより、子どもが見通しをもって主体的に学習できるように配慮しました。
[共通事項]の「音楽を形づくっている要素」を本教科書では「音楽のもと」と示しています。

題材名

4 パートの役わり

パートの役わりや曲の持ちょうを生かして演そうしよう

風とケーナのロマンス

学習のめあて

パートの役わりや曲の持ちょうを生かして演そうしよう

風とケーナのロマンス

音楽のもと

◆たてと横との関係 ◆フレーズ ◆拍

「音楽のもと」を見開きごとに示しました。「音楽的な見方・考え方」を働かせ、思考・判断しながら、表現を深めていくことができます。

まなびナビ (学び方を知ろう)

- 重なりやかけ合いをきき合って、生き生きと表現しよう。
- フレーズ (せんりつのくぎり) をくふうしてみよう。

「まなびナビ」は、指導上の留意点や、評価のガイドも視野に設定しています。学びのプロセスを示すことで、児童が見通しをもって学習を進めることができます。

▲P.36-37

学習の見通しや活動を、わかりやすく明示しました。

目次の次の見開きページに、各題材の学習内容について、子どもにもわかるように説明しています。

学習マップ

1 和音や低音のはたらき

和音や低音のはたらきを感じ取って演そうします。

2 アンサンブルのみりよく (合唱)

声の組み合わせのちがいをきき比べたり、曲に合った表現をくふうしながら合唱したりします。

3 アンサンブルのみりよく (オーケストラ)

いろいろな楽器の音色やその組み合わせを楽しみながらききます。

4 パートの役わり

音の重なるひびきやかけ合いなど、パートどうしの関わりを生かして演そうします。

5 日本の音楽

くらしの中で生まれ、伝えられてきた音楽の持ちょうをとらえて、きいたり歌ったりします。

6 豊かな表現

歌詞や曲の持ちょう、パートの役わりを生かして歌います。

7 音楽のききどころ

せんりつのくり返しや変化など、いろいろな持ちょうに注目してきき、曲のよさを見つけ友達に伝えます。

8 思いをこめた表現

曲のよさを感じ取り、協力しながら、美しいひびきで自分たちの表現をめざします。

学習の進め方

- ♪ 「音楽のもと」を手がかりにして学習を進めよう
 - ・「音楽のもと」を手がかりにして曲の持ちょうを見つけ、どのように演そうしたいか考えたり、曲のよいところやおもしろいところについて友達と伝え合ったりしよう。
 - ・音楽をつくるときも、「音楽のもと」を生かしてつくろう。
- ♪ 曲についていろいろなことを知ろう
 - ・曲の感じをとらえ、どうしてそのように感じるか理由を見つたり、歌詞との関わりについて調べたりしてみよう。
 - ・作曲家や、その音楽が生まれた国・地いなどについて調べたり、くらしと音楽との関わりについて考えたりしてみよう。
- ♪ すてきな演そうのために
 - ・「こんなふうには演そうしたい」と思ったら、そのための歌い方や楽器の演そうの仕方について考え、くふうして練習しよう。
- ♪ きき合いながら気持ちを合わせて演そうしよう
 - ・おたがいの声や楽器の音、ばんそうなどをききながら、よりよい演そうをめざそう。

特色
2

先生方のご授業を支える

資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列にしました。

「音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む」「生活や社会と音楽との関わりを扱う」「主体的・協働的に表現を楽しむ」を柱に、子どもたちの学びが深まるよう、系統性のある構成に配慮しました。

主要部分の題材構成一覧

	4年	5年	6年
音楽の見方・考え方を働かせながら 資質・能力を育む題材	はくとせんりつ	和音や低音のはたらき	短調のひびき
	ひびきのある歌声		
	曲に合った歌い方	豊かな表現	豊かな表現
	かけ合いと重なり	アンサンブルのみりよく	アンサンブルのみりよく
	パートの役わり	パートの役わり	せん律のひびき合い
音楽のききどころ	音楽のききどころ	音楽のききどころ	
生活や社会と音楽との関わりを扱う題材	日本と世界の音楽	日本の音楽	日本の音楽 世界の音楽
主体的・協働的に表現を楽しむ題材(まとめ)	思いに合った表げん	思いをこめた表現	思いをこめた表現

特色
3

一人一人の子どもたちに寄り添う

歌詞の内容を、美しいビジュアルで表現しています。

日本の美しい自然や四季を感じ取れるよう、折込3ページで写真を掲載しています。



▲P.10-11

「スキーのうた」は、スキーのときのスピード感や、わくわくする気持ちが伝わってくる写真を掲載しています。



◀P.50

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 教材選定における配慮 教材の配列と扱いにおける配慮 学習活動の提示における配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養、豊かな情操を培えるように、我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを選び、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取ることができるように配慮しました。(第1号) 児童一人一人がその能力を伸ばし創造性を培えるように、教材の配列や扱いに配慮しました。(第2号) 正義と責任、自他の敬愛と協力に対応するため、心を通わせながら学習活動をすすめる設定や示唆を設けました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年 全学年 P.4 P.26ほか
<ul style="list-style-type: none"> 郷土の音楽の扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民謡を掲載するなど、伝統と文化を尊重する心を育むよう配慮しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> P.42ほか
<ul style="list-style-type: none"> 共通教材等の唱歌の扱い (「にっぽんのうた みんなのうた」コーナー) 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の自然を表現した教材を扱う際、自然を大切にする気持ちを育むよう配慮しました。(第4号) 共通教材をはじめ歌い継いでいきたい我が国の歌の扱いでは、我が国の自然や四季、暮らしとの関わりを重視しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> P.46ほか P.38ほか
<ul style="list-style-type: none"> 国歌「君が代」の扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞や楽譜が読みやすい見開き構成とし、「さざれ石」の写真や、歌詞の大意を平易な文で掲載しました。(第5号) 自国や他国の国歌が演奏される場面をスポーツ大会の写真などで掲載し、国歌の担う国際的な役割にも触れています。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年 国歌「君が代」

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

人権教育・特別支援教育

専門家による校閲を受け、すべての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

- 人権教育への配慮
人権を尊重し、あらゆる差別やジェンダーなどについても配慮しています。

- カラーユニバーサルデザインへの配慮

紙面全体、文字や図版については、色の組み合わせや濃淡の工夫、また罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど、色覚の多様性を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。



- ユニバーサルデザインフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを要所に使用しています。



新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、表紙には抗菌加工をしており、裏表紙には、学校の生活で気をつけることをまとめた資料にアクセスできる、二次元コードを掲載しています。



ESD・SDGsへの取り組み

高学年では、対応した教材を設定し、専門家による校閲を受け、関連する内容をマークで示しました。P.65「川はだれのもの？」では、海や陸の豊かさを守ることへの意識づけを図ります。

まなびリンク



紙面上の二次元コードを通じた、音声や動画、写真、ワークシートなどの良質なデジタルコンテンツの活用により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。

教科書の紙面では「見る」「書く」「知る」のアイコンが目印です。

※PC・スマートフォン等とインターネット環境によって、家庭等校外からもアクセスが可能です。



見る
(動画など)



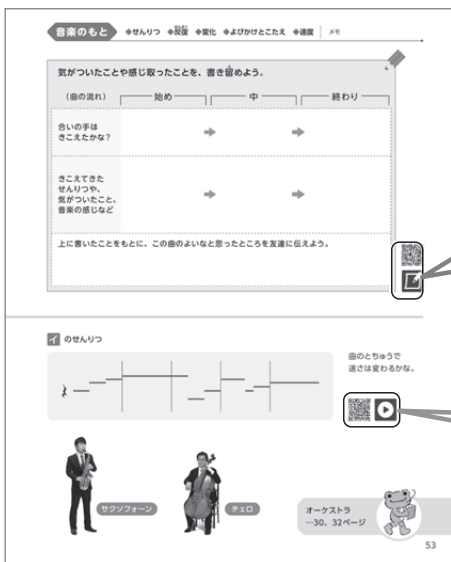
書く
(書き込み欄など)



知る
(資料など)



小学音楽
「まなびリンク」
トップページ



「つるぎのまい」を聴いて、
気がついたことや感じ取った
ことを、書き留められます。

「イの旋律」の演奏動画を
確かめられます。

デジタル機器を使用した学習への配慮

• タブレットPC等の活用

発達段階に応じて、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

• デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や音声などを追加した学習者用デジタル資料集・指導者用デジタル教科書を発行します。

今日的な教育課題(カリキュラム・マネジメント)への対応

- 主要部分と、選択可能なオプション部分を組み合わせることにより、地域や学校ごとのカリキュラムへの対応が可能です。
- 短時間学習(※)を視野に、教科横断的に扱える教材を掲載しています。
- 楽器の技能に関しては、授業時間内や短い時間を利用して繰り返し楽しみながら練習し、定着を図るコーナーを設定しています。

※ 短時間学習…10分、15分などの短い時間を単位として取り組む学習

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-83	小学校	音楽科	音楽	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 503	小学音楽 音楽のおくりもの5		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

学びに向かう力を育む

子どもの主体的・協働的な学びを、わかりやすい紙面でサポートします。

表現をくふうしてきき合いながら歌い合わせよう

ハロー・シャイニングブルー

音楽のもと ◆音色 ◆たてと横との関係 ◆強弱

自分たちの演奏を、ICレコーダーなどで録音してでき、音具を出し合う方法もあります。

①どんな曲かな。
●楽譜を見ながら演奏をしてみよう。
●歌詞を声に出して読んでみる。よきよき
りつこのころを歌ったりしてみよう。
●音の高低やリズムの強弱、いろいろな音の組み合わせを
●作業者はどんなイメージで曲をつづけたのか想像してみよう。→25ページ

②曲の特色はどんなところにあるかな。
●楽譜に記された音が、どの部分でどんな役割や
●音の強さや音の高低を表現しよう。
●体へのリズム
●長くのびる音の表現

③パートに分かれて練習しよう。
●自分のパートに集中して練習しよう。
●曲の各部分での、自分たちのパートの役割を
●考えて、声の強さや音の高低を表現しよう。

④みんなで合わせよう。
●自分のパートや音の高低やリズムの変化など、
●曲のしくみや特徴をとらえながら歌い
●合わせよう。
●自分たちの思いや意見を大切に、よりよい
●演奏をしていくためのポイントを考えてな
●がら練習しよう。
(ポイントの例)曲に合った楽器の音や歌の
●発声、強弱や音の高低、フレーズの歌い
●出しや練習方法、息づきのタイミングなど

子どもが見通しを持って主体的に学習できるように、学び方を例示しています。

▲P.26-27

音のスケッチ

ずれの音楽を楽しもう

何人で演奏していると思う? どういうリズムでできている音楽なんだろう? 何の音で演奏しているのかな?

クラッピングミュージック

レッツゴーのリズムをずらして遊ぼう

「レッツゴー」のリズム

1 二つの組になり、いろいろずらし方(進みかけ方)をためてみよう。

2 ずらし方(進みかけ方)をいろいろ考えて、リズムを打つ。

3 全体のリズムを決めよう。

4 4拍ずらし

2拍ずらし

1拍ずらし

くり返すリズムを決めて始めよう。

音楽のもと ◆たてと横との関係 ◆リズム

2 ずらし方をくふうして、「ずれの音楽」をつくろう。

つくり方

1 全体の流れを決めよう。
●始め 中 終わりの三つの部分を考えて、どこでいつしよにリズムを打つか、どこでずらすか考えよう。

2 ずらし方(進みかけ方)をいろいろ考えて、リズムを打つ。

3 全体のリズムを決めよう。

4 4拍ずらし

2拍ずらし

1拍ずらし

くり返すリズムを決めて始めよう。

もつとあそぼう

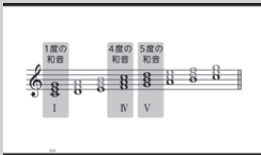
●体のいろいろなところを打って演奏しよう。
●楽器で演奏しよう。

思考・判断の場面の示唆で、子どもの協働的な深い学びをサポートします。

▲P.58-59

和音のはたらきを、簡単な学習活動を通して感じ取ることができるページです。

まなびリンクでは、理解の手助けになる動画を用意しています。



1 和音のはたらきを感じ取ろう

「茶色の小びん」(14ページ)のせんりつを、和音と合わせてみよう。
※和音とは、高さのちがう二つ以上の音が重なってひびく音のことです。

せんりつ
和音

1 和音だけ何回もくり返してきてみよう。
また、和音のいちばん下の音だけくり返してきてみよう。
2 和音に合わせて「茶色の小びん」のせんりつを演奏しよう。
3 せんりつを聴くと、和音の音を比べてみよう。ちがう音はあるかな。

八長調の音階
ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

八長調の主な和音①
1度の和音 I 4度の和音 IV 5度の和音 V

※和音をつなげて演奏するとき、つながりやすくするために、和音の重なり方を覚えることができます。

1度の和音 I 4度の和音 IV 5度の和音 V 1度の和音 I

音楽のもと ◆音の響き ◆和音のひびき ◆音階 ◆調 ◆メロ

和音のひびきに合わせてポーズをしてみよう。

コース1
1度の和音 I 5度の和音 V 1度の和音 I

コース2
4度の和音のひびきをきいて、合うポーズを考えよう。
また、そのポーズにした理由を友達に伝えよう。

1度の和音 I 4度の和音 IV 5度の和音 V 1度の和音 I

もっとあそぼう
1度や5度の和音で、別のポーズも考えてみよう。

「5度の70和音」も見てみよう。→18ページ

16 17

▲P.16-17

さまざまな楽器が登場するオーケストラの鑑賞では、音色や変化などを聴き取りやすい楽曲を掲載しています。

P.32-33▶

3 オーケストラのひびきを楽しもう

この曲はオーケストラによって演奏されます。
カリフォルニア州は、ファンクからロックにかけて広がっている音楽です。

主なせんりつ
①の部分のせんりつ
②の部分のせんりつ

曲の楽しみ方
せんりつを演奏する主な楽器
① 弦楽器 ② 金管楽器 ③ 木管楽器 ④ 金管楽器 ⑤ 弦楽器

※せんりつを演奏する楽器が変わっていく。それぞれのひびきを感じ取ろう。

オーケストラで使われる楽器の例 ここでは「行進曲風」で使われている楽器を、しょうがいています。

弦楽器
バイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

木管楽器
ピッコロ、フルート、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン

金管楽器
トランペット、トロンボーン、チューバ、ホルン

打楽器
シンバル、大鼓、ティンパニ

32 33

7 曲のおもしろいところを見つけよう

つるぎのまい (ハチャツクリン 作曲) いくつかのことに気をつけながら聞いてみよう。

ばんそうのくり返し
曲の最初から出てきてくり返し続く、リズムや音の形に注目しよう。

主なせんりつくり返しや変化
①のせんりつ

合いの手
せんりつにこたえるように、短く入るよ。きこえたら、手で表そう。

木琴 など トロンボーン など

32 52

(曲の流れ) 始め 中 終わり

合いの手はきこえたかな? →

きこえてきたせんりつや、気がついたこと、音楽の感じなど →

上に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところを友達に伝えよう。

①のせんりつ

曲のちがうで速さは変わるかな。

サクソフォーン チェロ オークストラ →30、32ページ

53

まなびリンクでは、各楽器の音色や、楽譜を目で追いながら鑑賞を楽しめる動画を用意しています。

◀P.52-53

内容の特色



観点	内容の特色（該当箇所掲載）
知識及び技能の習得	「音楽を形づくっている要素」を、児童がその働きを意識しながら学習できるように「音楽のもと」として見開きごとに示しました。 また、「音楽を形づくっている要素」をもとに、思いや意図に合った表現のための技能を身に付けられるように配慮しました（P.28-29ほか）。
思考力、判断力、表現力等の育成	「音楽を形づくっている要素」をもとに、音楽を捉えて魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かして表現したりできるように、教材や扱い方に配慮しました（P.26-27、P.32-33ほか）。
主体的・協働的で深い学び	児童が見通しを持って主体的・協働的に学習できるように、見開きごとに学習のねらいとまなびナビ（P.14ほか）を設定したほか、学年全体の学習の流れを、学習マップ（P.4-5）で示しました。
歌唱教材	音域や長さ、歌詞の内容が発達段階に適合するように、教材の選定や扱いに配慮しました。また、輪唱を取り入れることにより、合唱の導入の扱いにも配慮しました。
器楽教材	演奏の技能を少しずつ確実に習得できるような構成です（P.28-29ほか）。
音楽づくり教材	児童が音楽づくりの発想を得たり、思いや意図をもって、まとまりを意識した音楽をつくったりできるように、学習活動の系統性や発達段階に配慮しています（P.20-21ほか）。
鑑賞教材	「音楽を形づくっている要素」を聴き取りやすい教材を選択し、音楽的な見方・考え方を育むことができるように配慮しています（P.52-53ほか）。
伝統・文化の尊重	歌唱共通教材では、歌詞から想像される季節や情景を表す写真、挿絵を豊富に掲載しています（P.10-11ほか）。
国際理解	諸外国の音楽文化について、人々の生活との関わりを意識した扱いに配慮し、多様な曲種の音楽を扱っています（P.36-37ほか）。
範囲	低・中・高各学年の目標及び内容をふまえて精選された題材と教材により、必要な範囲の内容が十分かつ適切に扱われるように配慮しています。
程度	リズム、音域、歌詞の内容など、各学年にふさわしいグレードの教材を、発達段階に合わせて系統的に配置しています。
教育基本法との対応	第二条第1号～第5号に適合するように編修しています（教育基本法との対照表をご参照ください）。
ICT機器の活用	紙面に掲載した二次元コードで、児童の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できる動画・テキストの資料「まなびリンク」を用意しています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	専門家による校閲を受け、すべての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。
製本	製本は堅牢で、長期の使用に十分耐えられる仕様です。

2. 対照表

第5学年 教材 ◎ …鑑賞教材 (共) …共通教材 ☆ …音楽づくり	A 表現											B 鑑賞		[共通事項]		他教科との 関連等	
	(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 音楽づくり						(1)		(1)		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア		イ		ウ		ア	イ	ア		イ
							(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)					
夢色シンフォニー	○	○	○												○		
花のおくりもの	○	○	○												○	○	
クラブ フレンズ				○	○	○									○	○	
こいのぼり(共)	○	○	○												○		
茶色の小びん	○	○		○	○	○									○	○	
こきょうの人々	○	○	○	○	○	○									○	○	
☆和音に合わせてせんりつをつくろう								○		○		○			○	○	
◎いろいろな合唱	○												○	○	○	○	
ハロー・シャイニング ブルー	○	○	○												○	○	
星笛				○	○	○									○		
◎組曲「カレリア」から													○	○	○	○	
赤とんぼ	○	○	○												○		
風とケーナのロマンス	○	○	○	○	○	○									○	○	
子もり歌(共)	○	○	○												○		
◎会津磐梯山／◎音戸の舟歌													○	○	○		
こきりこ節	○	○	○	○	○										○	○	
谷茶前	○	○													○		
地球の向こう側の君へ	○	○	○												○	○	
冬げしき(共)	○	○	○												○		
☆いろいろな声で音楽をつくろう								○		○		○			○	○	国
スキーの歌(共)	○	○	○												○		
◎つるぎのまい													○	○	○	○	
ルパン三世のテーマ				○	○	○									○		
君をのせて	○	○	○												○		
☆ずれの音楽を楽しもう／ ◎クラッピング ミュージック								○		○		○	○	○	○	○	
◎ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章													○	○	○		
しの笛のみりよく				○	○	○							○	○	○		
心から心へ	○	○	○												○		
川はだれのもの?	○	○	○												○		
大切なもの	○	○	○												○		
レッツゴー!! ライダーキック				○	○	○									○		
ゆき	○	○	○												○		国
音楽のおくりもの	○	○	○	○	○	○									○		
さんぽ	○	○	○	○	○	○									○		
Auld Lang Syne (ほたるの光)	○	○	○														英
Michael, Row the Boat Ashore (こげよマイケル)	○	○	○														英
君が代	○	○	○												○		
ベチカ	○	○	○												○		
待ちぼうけ	○	○	○												○		
星とたんぼぼ	○	○	○												○		国
小さい秋みつけた	○	○	○												○		

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-83	小学校	音楽科	音楽	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 503	小学音楽 音楽のおくりもの5		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
29	全休ふ	2	[共通事項] (1) イ	0.25
			合計	0.25

(「類型」欄の分類について)

- 1 …… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2 …… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容